

コミケビギナーのための 超・速・解 アドバイス

ComiNavi

新棟の開設に加え、今回は西地区が企業のみでの配置となるなど、本格的にビッグサイトも変化していることを参加者の皆さんも実感していると思います。

毎回変更点多数になっていくコミケット。ビギナーさんはもちろん、ベテラン参加者も変更点はきちんと確認して参加テクニックも逐次、最新版にアップデートを！



■■暑さ対策の必要性は変わりません■■

一般参加、サークル参加、コスプレと、コミケットへの参加にも幾つかのスタイルがあるが、いずれであっても参加する以上は家を出てから再度帰宅するまで、あなたは元気でなければならない。これはコミケットの無事な開催に必要な不可欠なものであり、コミケットのルールを守ることと同様、参加者1人1人に課された基本的な責任である。

コミケットの参加者は今や延べ55万人以上にも及ぶが、その中でももしもアナタたった1人が命に関わるような重篤な健康トラブルや事故に遭ってしまったら、それだけで今後のコミケット開催は非常に難しくなってしまう。何十万人参加していても、1人や2人どうでもいい、とはならないのだ。

アナタにとってコミケットが大事な場であるなら、コミケットにとってもアナタは大切な参加者である。参加するだけでもここまでの認識が求められるイベントというのは他にはなかなか無いが、それだけに、ビギナーさんはコミケットを甘く見ず、ベテランさんも慣れに驕らず、最新最適の環境対策をした上で来場してほしい。

■総員、対日光防御!!■

地球そのものを温める超高熱源『太陽』。その熱量を直接身体で受け止めていては、どんな暑さ対策もほとんど効果がない。コミケットでは、入場待機列に早朝から並んでいれば、日の出の瞬間から直射日光との戦いが始まり、大手や企業の待機列に並べば日中の一番暑い盛りに延々と陽射しに炙られ続けなければならない。だからと言って、徒手空拳で太陽とガチンコ勝負する必要などないのだ。



●待機列では日焼け厳禁

コミケットで最も過酷な環境と言えるのが、待機列だ。照りつける日差しに晒されながら、熱を帯びた地面に、そこからの照り返しや輻射熱を全身に受けながら長時間立ったり座ったりして待ち続けるのは、想像以上に体力を奪われる。実際、コミケット会場で体調を崩し倒れる参加者のほとんどが、この待機列中でなのだ。

そんな状況で少しでも体力を温存しようと思ったら、何をさて置いても直射日光を身体、特に肌に直接受けないことだ。長時間肌に日光を浴び続ければ当然日焼けをするわけだが、日焼けはただヒリヒリと痛いだけではなく、体温も上がり脱水症や熱中症のリスクが格段に高まることになる。会場で無為に日差しを浴び続けているのは百害あって一利なしと認識しよう。

コミケットのように長時間の外出となると、家を出る際に塗った日焼け止めは効果を維持できないことが多い。あくまで補助と考え、物理的に日光を遮る物を用意する方が簡単だし効果的だ。

とくに男性は日頃から陽射し対策を意識する習慣がなく、暑い=薄着という感覚で腕や首回りを露出した服装で待機列に並び、入場の頃には真っ赤に日焼けしてしまっぐったりしている光景がよく見かけられるので、要注意だ。

